

# 日本震災年表

古代から現代までに日本で発生した規模・被害の大きな地震・津波などの震災を年表にした。マグニチュードは推定値。なお、年代は1872年までは太陰太陽暦、それ以降はグレゴリオ暦を元としている。

年代	マグニチュード	地震名・震源
416年(允恭5) 7月14日	不明	大和、飛鳥鳥宮付近(奈良県明日香村?)
日本書紀に記載された、日本で最初の地震		
599年(推古7) 4月27日	7	大和
日本書紀に「地動、舎屋悉破」とあり、日本で最初に被害(家屋損壊)が記録された地震		
678年(天武7) 12月	6.5 ~ 7.5	筑紫
家屋倒潰、地割れ		
684年(天武13) 10月14日	8.2程度	「白鳳地震」。南海・東海・西海地震
巨大地震。山崩れ、津波により、家屋損壊、死傷者多数。「土左国田苑五十余万頃 没為海」(日本書紀)		
734年(天平6) 4月7日	不明	「天平地震」。畿内ほか
地割れ、山崩れ、家屋損壊により多数圧死		
745年(天平17) 4月27日	7.9	美濃
多くの建物が損壊。摂津で余震20日間		
818年(弘仁9) 7月	7.5以上	関東
山崩れにより谷が埋まる。多数圧死		
830年(天長7) 1月3日	7 ~ 7.5	出羽
多数損壊。死者15人、負傷者100人以上。地割れ、川の氾濫		
869年(貞観11) 5月26日	8.3以上	「貞観地震」。三陸沖地震
巨大地震。甚大な津波被害。溺死約1000人。損壊多数。津波が多賀城下に押し寄せる		
878年(元慶2) 9月29日	7.4	関東
相模・武蔵の被害甚大。死者多数。京都も揺れる		
887年(仁和3) 7月30日	8 ~ 8.5	「仁和地震」。南海・東海地震
巨大地震。京都で多数損壊、摂津で津波により死者多数		
938年(天慶1) 4月15日	7	京都・紀伊
損壊多数。高野山に被害。8月6日に強い余震		
976年(貞元1) 6月18日	6.7以上	山城・近江
転倒・損壊多数。死者50人以上。余震多発		
1096年(永長1) 11月24日	8 ~ 8.5	「永長地震」。東海地震
巨大地震。畿内・東海道で被害甚大。東大寺の鐘が落ちる。伊勢・駿河では津波で家屋が流される		

年代	マグニチュード	地震名・震源
1099年(康和1) 1月24日	8 ~ 8.3	「康和地震」。南海地震
巨大地震。津波により、土佐が甚大な被害(「地震之刻国内作田千余町皆以成海底」。興福寺・天王寺など畿内も被害)		
1185年(文治1) 7月9日	7.4	近江・山城・大和
『方丈記』(鴨長明)に記録あり。京都で多数被害		
1241年(仁治2) 4月3日	7	鎌倉
津波により由比ヶ浜大鳥居内拝殿が流される		
1257年(正嘉1) 8月23日	7 ~ 7.5	鎌倉。関東南部
鎌倉で大きな被害。山崩れ、家屋損壊、地割れ		
1293年(永仁1) 4月13日	7	鎌倉大地震
鎌倉で被害甚大。建長寺炎上。損壊、土砂災害など多数。死数2万人以上		
1360年(正平15) 10月5日	7.5 ~ 8	紀伊・摂津
津波により、人や馬牛が多数死亡		
1361年(正平16) 6月24日	8 ~ 8.5	「正平地震」。南海地震
巨大地震。摂津・阿波・土佐は津波により被害甚大。家屋多数流失。余震多数		
1407年(応永14) 12月14日	7 ~ 8	紀伊・伊勢
熊野本宮で温泉が80日止まる被害。紀伊・伊勢・鎌倉で津波		
1498年(明応7) 6月11日	7 ~ 7.5	日向灘
九州で土砂災害、損壊。死者多数。別府では熱泥が湧出		
1498年(明応7) 8月25日	8.2 ~ 8.4	「明応地震」。東海・東南海地震
巨大地震。紀伊から房総にかけて津波が襲い、家屋流失、溺死など被害甚大。死者3万人以上。鎌倉高德院大仏殿が津波で損壊。浜名湖が太平洋とつながる		
1501年(文龜1) 12月10日	6.5 ~ 7	越後西部
越後国府で損壊、死者多数		
1525年(大永5) 8月23日	不明	鎌倉
由比ヶ浜の川・入江・沼が埋まって平地になる		
1585年(天正13) 11月29日	7.8	「天正大地震」。畿内・東海・北陸など広範囲
巨大地震。飛騨・越中・美濃・近江など広い範囲で、城・家屋など損壊、集落埋没。戦国武将も被害。犠牲者多数。水没、津波も発生し、甚大な被害		
1596年(慶長1) 7月12日	7	豊後
大分で地震・津波による被害、陥没などにより、死者700人とも		
1596年(慶長1) 7月13日	7.2	伏見
畿内で多数被害。伏見城天守や石垣崩れる。建物損壊。死傷者多数		
1604年(慶長9) 12月16日	7.9 ~ 8	「慶長地震」。東海・南海・西海地震
巨大地震。津波により、太平洋側の海岸で甚大な被害。犬吠崎、八丈島、浜名湖、紀伊、阿波、土佐、室戸岬付近など広範囲で建物や人が流される。死者多数		
1611年(慶長16) 8月21日	6.9	会津
会津若松城下で多数被害。死者3700人以上		